

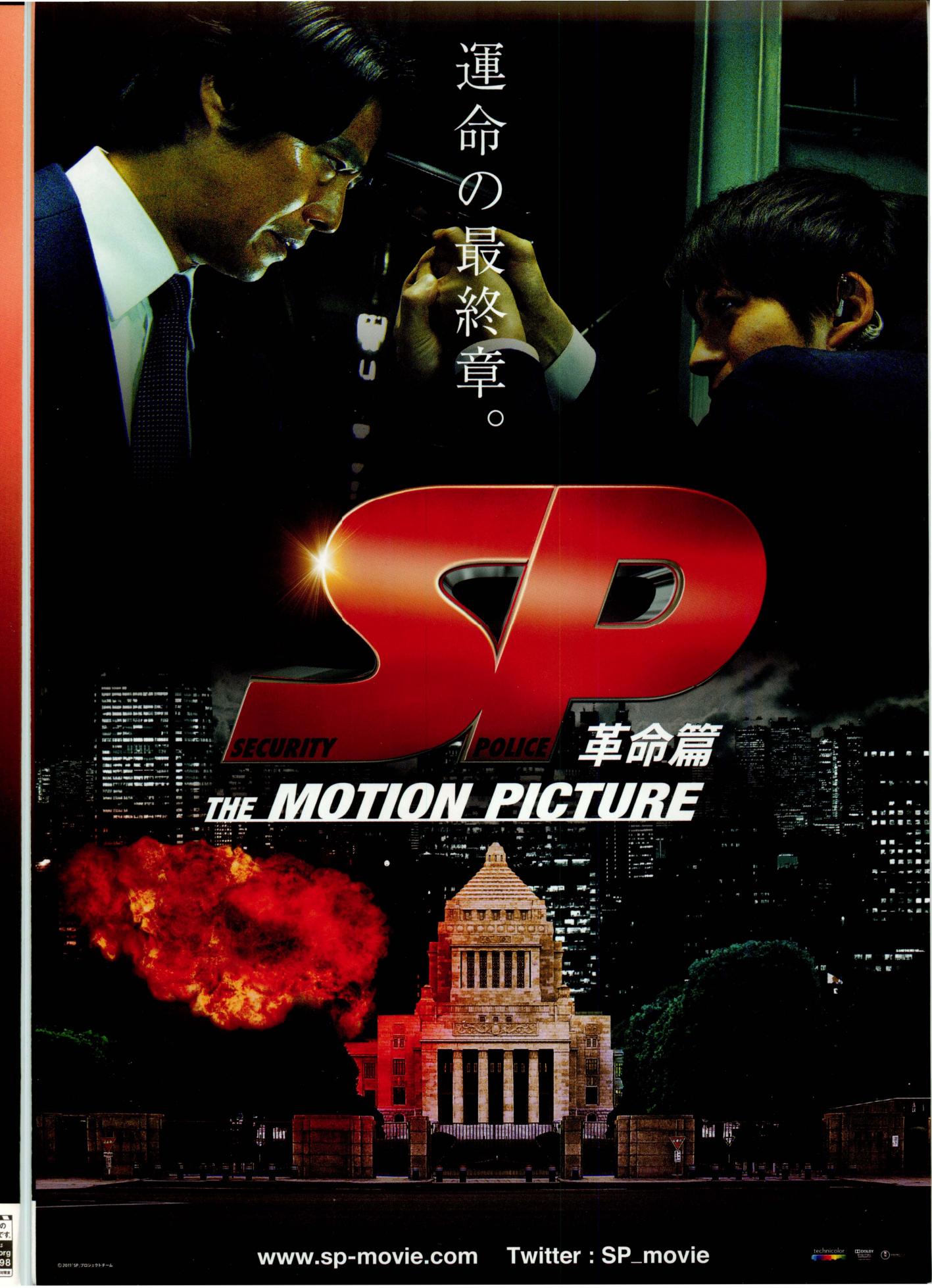


岡田准一 香川照之 / 真木よう子 / 松尾諭 神尾佑 山本圭 / 堤真一

野間口徹 春田純一 平田敦子 堀部圭亮 古山憲太郎 伊達晃 入山法子 波岡一喜 平岳大 萤雪次朗

原案・脚本:金城一紀 音楽:菅野祐悟 監督:波多野貴文

製作:池山千広 藤島ショーリー、エクセティックプロデューサー:石原隆一 田代行 島谷能成 加太孝明 プロデューサー:関口大輔 横尾直人 中島久美子 古都真也
撮影:相馬大輔 映像:和田道二 録音:阿部茂 美術プロデュース:宮崎かおり 美術デザイン:積木剛次 竹中健 美術進行:福井大 撮集:穂垣順之 助監:目黒圭希子 VFXディレクター:山本晋之
音楽:藤村義孝 アクション監督:大内貴仁 制作担当:鹿洪勉 長谷川晴彦 助監督:高橋正秀 スーパーハイマー:杉山泰一 製作:SPプロジェクトチーム 制作プロダクション:FLIM 配給:東宝



すべては、革命で明かされる。『SP』シリーズ、ついに運命の最終章。

これも大義のためですか？

FINAL

週末興行ランキング3週連続1位を獲得した『野望篇』から、さらなる進化を遂げた衝撃のスケール＆アクションシーンがファイナルエピソードを彩る！
『SP』シリーズの集大成にして最終章、いよいよスクリーンに登場！

細部まで徹底的にこだわり抜いた緊迫感あふれる映像、直木賞作家・金城一紀のオリジナル脚本が生み出す緻密かつ予測不可能なストーリー展開、そして主演の岡田准一がノンストップで体現する生身のアクション——。卓越したクオリティの高さで、深夜枠の連続ドラマとしてスタートした頃から、多くの熱狂的ファンを獲得してきた「SP 警視庁警備部警護課第四係」。昨年、公開され大ヒットした「野望篇」では、約20分間にわたり展開する大迫力のノンストップアクション「フリーランニング」に果敢にチャレンジし、日本のアクション映画史に新たな足跡を残した。加えて、謎に満ちた尾形総一郎(堤真一)の行動がストーリーに対するさらなる謎を呼び、続編の公開が渴望される中、ついに2011年3月、『SP』プロジェクトの集大成となる『SP 革命篇』がスクリーンに登場する！『野望篇』で、主人公・井上薰(岡田准一)ほか笹本絵里(真木よう子)、山本隆文(松尾諭)、石田光男(神尾佑)の第四係の面々が、テロリストの猛襲に遭いながらも、官房長官の警護を無事終えてから約2ヶ月……。井上の心に、尾形への不信感が募る一方で、“野望”実現に向けて行動が加速する尾形は人生をかけた“計画”を実行に移すことになる。その舞台は、国の政治の中核、国会議事堂。麻田内閣不信任案採決の日、国会の様子がテレビで生中継される中、大胆かつ大規模なテロが遂行され、全国民が事件を目撃する前代未聞の事態に！

議員席には、意味深な表情を浮かべる与党幹事長・伊達(香川照之)の姿が。そして本会議場には銃声が轟き……。これまでにも数々のチャレンジを敢行し、高いハードルを乗り越えてきた『SP』プロジェクトだが、その中でも、アクション的にもドラマ的にも、最大の挑戦作と言える『SP 革命篇』。完結編となる本作では、テレビドラマから描かれてきたあらゆる伏線が一つに繋がり、国家を巻き込む、圧倒的なスケールの物語に発展。すべての謎に対する驚愕の真相と、登場人物たちの想いが次々と明らかになっていく怒濤の展開は観客の度肝を抜き、鳥肌が立つようなカタルシスをもたらすに違いない。そしてその物語を支える、岡田准一と堤真一の迫真の演技にも注目。いつしか対立せざるを得ない方向に動いて行った井上と尾形の運命を説得力たっぷりに演じきっている。また、『SP』に欠かせないアクションシーンも、さらなる進化を遂げている。井上対テロリストの息詰まる格闘はもちろん、第四係の面々がテロリスト集団に立ち向かう、研ぎ澄まされた連携アクションは、より成熟した表現に到達し、まさに圧巻。渾身のアクションシーンの数々は、観客の心を驚異にするはずだ。『SP』プロジェクトのすべてが凝縮され、新たな高みに昇華された『SP 革命篇』。

壮大なストーリーの結末と、『SP』が示す日本映画の新たな可能性を、ぜひスクリーンで目撃して欲しい。

大義の為に死ねればそれでいい。

FINAL

20年前の「惨劇の広場」まで遡る、謎に包まれた尾形の「野望」。そして、井上の「願い」。政権の長として権力を握る麻田首相、その座を狙う幹事長・伊達、警察内部に深く潜む影、強固な官僚国家を目指す若き策略家たち、力によってシステムを変えようと画策するテロリスト、命をかけて職務を全うする第四係のSPたち。様々な思惑が、大きなうねりとなって重なりあう…

ストーリー

官房長官を狙ったテロ事件から2ヶ月——。

井上薰(岡田准一)、笹本絵里(真木よう子)、山本隆文(松尾諭)、石田光男(神尾佑)ら警視庁警護課第四係のメンバーたちは、テロリストとの死闘による怪我も回復し、要人警護の通常任務をこなしていた。だが、尾形総一郎(堤真一)の思惑を確実に感じ取っている井上のシンクロの症状は悪化の一途を辿っている。そんな中、いつものように任務に就く第四係の面々。この日、尾形の人生をかけた計画が実行に移されようとは知る由もなかった……。

一方、尾形の実家を訪ね、衝撃の事実を突き止めた直後に何者かに襲われた公安部員・田中(野間口徹)は、瀕死の重傷を負いつつも、病院を抜けだし、上司に緊急のメッセージを伝える。「尾形は身分詐称をして入院しています。本物の尾形総一郎は別にいます！」

尾形の「野望」が実現する舞台——

それは麻田内閣不信任案の採決が行われる国会議事堂だった。井上らSPに警護された国会議員が、次々と衆議院棟・本会議場内へ。閣僚たち、そして麻田首相もひな壇に現れ各大臣席に着いていく。尾形と野望を共有してきた与党幹事長・伊達國男(香川照之)は、麻田を睨みつけ、「すぐにそこから引きおりおろしてやるからな」とつぶやく……。

麻田内閣の行方をマスコミが注視する中、いよいよ本会議がスタート。同時に、尾形が命をかけて挑む、計画の火蓋が切られる。国会議事堂を占拠し、一斉に活動を開始するテロリスト。そして尾形と行動を共にする意外な人物たち……。誰が敵で、誰が味方なのか。騒然とする国会内の様子が一部始終、日本全国に生中継され全国人民が見守るという異常事態。初めて明かされる、尾形の決意と行動の真の意味とは？その時、井上は、何を考え、何を願うのか？

